



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和6年4月26日

企業・団体名 安達建設株式会社

代表者名 代表取締役 安達 正彦

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日（宣言日又は令和5年4月1日）～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 自然環境の持続可能な管理に配慮しながら質の高い強靱なインフラ整備を目指す</p> <p>【実施状況】 ・作業の効率化を図る目的もあり、少人数で作業が可能な測量機器を導入し運用中。また原価管理システムを導入し、工事受注時から、施工、完成売上代金入金までシステム上で一元管理することで更なる紙資料の削減をはじめとする、資源コスト、諸経費コストの削減を図っている。日常業務のコストを削減しながら経営資源を受注工事の施工、管理等に振り向け質の高い工事完成品の提供、強靱なインフラ整備の構築となるよう努力している。</p>
2	<p>【目標】 住みよいまちづくりのため、環境保全、環境汚染防止に努める</p> <p>【実施状況】 ・各施工現場においては都度安全パトロールを実施しており、毎月中旬の社内安全対策会議をはじめ安全に対する意識の向上、安全性の確保を図っている。 ・大雪時に地元の道路保全のため道路管理業者の依頼により、人員、機材等拠出。また、自然災害時にも積極的に環境保全、地域貢献のため活動を行っており、令和6年能登半島地震においては災害復旧のため人員を派遣、資材等も提供し災害復旧支援活動を行った。</p>
3	<p>【目標】 男女の区別なく公平で質の高い技術教育の場を提供し、長く働きやすい環境整備に努める</p> <p>【実施状況】 ・男女の区別なく、特に若年層のスキルアップを図るべく業務に必要な資格取得のサポート体制の構築を図っている。また、希望資格があれば積極的に取得のためサポートを行っている。 ・ベテラン技術者と、入社年月の浅い社員を組ませて各現場、各部署に配置することで技術継承、人材育成のための基盤となるよう人員配置を行うと共に、経験を積んだ若手社員については責任ある現場、部署に積極的に登用しレベルアップを図っている。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。